

## 化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会報告

第9回(第13回・最終回) 化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会

日時: 2015年5月28日(木) 13:30~14:30

場所: グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 「若芝」

出席者: 委員・理事 14名、陪席 7名

松永佳世子委員長、相原道子、池澤善郎、板垣康治、宇理須厚雄、岸川禮子、杉浦伸一、  
田中宏幸、手島玲子、野口恵美子、秀 道広、福富友馬、矢上晶子 各委員、  
齋藤博久 担当理事

オブザーバー: 中村政志(藤田保健衛生大学)、佐々木和実(製品評価技術基盤機構)

川本典生(加藤委員代理)、日本化粧品工業連合会 高野勝弘、佐々 齊、杉山真理子

参考人: (株)悠香 竹田典雄

欠席者: 加藤善一郎、澤 充、千貫祐子、福島敦樹、森田栄伸 各委員

### 議事概要

#### 1. 5月31日市民公開講座の最終確認(参加者配付資料と講演概要説明)

本日子演の内容は、日本皮膚科学会の第二部と同様、厚生労働省安全対策課に提出することが松永委員長より諮られ、了承された。

本日出席の福富、矢上、手島 各講演者より、講演概要が説明され、意見を交わした。

また、公開講座での質疑応答、報道関係への取材対応について協議した。

#### 2. 活動報告の作成

松永委員長より下記の提案があり、討議した。

1) 一般向け(公開): 学会Webサイトに掲載。内容は、公開講座配付の講演サマリーとする。

2) 会員向け(公開): 学会誌(和文・英文)掲載に向けて準備する。

3) 日本アレルギー学会への詳細報告書(非公開)

意図: 学会誌では、すべての資料をまとめることができないので、別途 論文集、資料集を後世のために残す。同様な研究活動の参考にしていただく。

位置づけ: 学会内部資料。紙媒体(PDF)で学会理事長へ提出。取扱い管理は理事長が行う。

原稿の作成: 分担は委員長提案を基本とし、未定部分は今後補充する。

#### 3. (株)悠香から、最新の症例累計件数について報告があった。

集計期間 2011年5月20日~2015年5月15日

●顧客からの情報 顧客からの診断書等により得られた症例: 3049件

(このうち「診断基準」にて「確実例」と医師に診断されたもの: 1802件)

●医療関係者からの情報 医薬品医療機器総合機構に情報提供されたもの: 240件

(このうち「診断基準」にて「確実例」と医師に診断されたもの: 44件)

以上